

## 研究・研修報告書

令和4年 8月 9日

小牧市議会議長 様

会派名 公明党小牧市議団

代表者氏名 稲垣衿子

研究・研修の結果を報告します。

### 記

1 参加議員 稲垣衿子

2 日程

令和 4年 8月 5日（金）

3 研究・研修名

ヤングケアラーへの支援と自治体の役割

4 主催者 （株）地方議会総合研究所

5 会場 京都経済センター・オンライン受講

6 受講の目的

ヤングケアラーの現状・支援のニーズ、早期発見のポイント等

7 主な内容

ヤングケアラーの現状と必要な支援・現場最前線解決への手立て等

8 所感・提言・課題等

ヤングケアラーはイギリスで生まれた概念(1980年代)とのことで日本ではひとり親と子どもが48.6%と最多であること。実態調査(2020年)では中学生17人に1人高校生24人に1人で、学校生活に影響を与えている。家族の世話の有無や日常生活の悩み困りごとの相談支援体制の充実が求められる。家庭・保健・福祉・医療・介護等行政の関係機関の連携が重要であり、子どもとしての権利・人権が守られていない点など課題も多い。

また、こども家庭庁設置法によってヤングケアラー支援体制をより充実して推進していく必要性が求められるのではないかと感じました。